



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年2月5日に開示いたしました「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押森 広仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,370	△20.7	△613	—	△562	—	△561	—
27年3月期第3四半期	8,032	30.4	△14	—	19	—	28	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △650百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 124百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	<u>△45.20</u>	—
27年3月期第3四半期	<u>2.27</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	<u>12,201</u>	<u>3,642</u>	<u>29.9</u>	<u>293.26</u>
27年3月期	<u>12,292</u>	<u>4,293</u>	<u>34.9</u>	<u>345.59</u>

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 3,642百万円 27年3月期 4,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	<u>5.0</u>	210	<u>114.3</u>	240	<u>93.5</u>	210	<u>156.1</u>	16.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	12,969,000株	27年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	548,300株	27年3月期	546,184株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	12,421,179株	27年3月期3Q	12,423,540株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用や個人消費が底堅く景気は堅調に推移し、欧州経済は穏やかな回復基調で推移しましたが、期後半にかけて中国経済の減速を震源とした景気減速への警戒感の高まり、原油安や地政学的リスクにより、先行き不透明な状況となりました。また、我が国経済は、世界経済の先行きに不透明感が強まったものの、総じて穏やかな景気回復基調が続いております。

当社の需要先である半導体業界においては、大手メーカーがスマートフォンの成長鈍化から半導体設備投資計画を下方修正したことを皮切りに、設備投資に関しては一転慎重な見方が広まりました。一方、先端パッケージ分野に関しては、先行投資を含め、引き続き前向きな動きが見られました。こうした環境の中で、当社グループはWLP（ウエハーレベルパッケージ）をはじめとする先端パッケージ分野及び車載向けパッケージ分野などに関して、積極的な技術開発と販拡活動を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,370百万円（前年同四半期比20.7%減）、営業損失は613百万円（前年同四半期は営業損失14百万円）、経常損失は562百万円（前年同四半期は経常利益19百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は561百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益28百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①電子部品組立装置

電子部品組立装置の受注環境につきましては、半導体の新規パッケージ向け設備投資や電子部品向け装置が引き続き堅調な動きとなり、WLPをはじめとする先端パッケージ分野を中心としたモールド装置及びリード加工機が受注を牽引し、受注は計画を上回りました。一方、納期が第4四半期に集中したこと、また従来の顧客層と異なる受注が多く難易度が高い新規製作装置であり、想定より納期が延びたことから、売上が計画を下回るとともに前年同四半期に比して利益面も圧迫しました。

この結果、売上高は4,473百万円（前年同四半期比15.8%減）、セグメント損失は11百万円（前年同四半期はセグメント利益533百万円）となりました。

②電子部品

リードフレーム事業において、一部の製品で当社の外注加工費用を含む取引がありましたが、商流の変更により平成27年6月より外注加工費用を除く取引に変更となりました。なお、この変更により売上は約400百万円程度減少しましたが、損益への影響は軽微であります。一方、LEDプリモールド基板事業につきましては、価格の低下が急速に進み受注が減少したことにより、前年同四半期に比して売上が減少し、赤字幅が拡大しました。

この結果、売上高は1,164百万円（前年同四半期比45.2%減）、セグメント損失は233百万円（前年同四半期はセグメント損失170百万円）となりました。

③その他

その他につきましては、リード加工金型及びリードフレーム用生産金型の販売であります。リードフレーム用生産金型は低調な状況でしたが、リード加工金関連の投資需要が順調に推移いたしました。

この結果、売上高は732百万円（前年同四半期比23.0%増）、セグメント利益は91百万円（前年同四半期比64.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、12,201百万円（前連結会計年度末は12,292百万円）となり、前連結会計年度末と比較して91百万円減少いたしました。これは主に、受注の増加により棚卸資産が増加した一方、売掛金および固定資産が減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、8,558百万円（前連結会計年度末は7,999百万円）となり、前連結会計年度末と比較して558百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,642百万円（前連結会計年度末は4,293百万円）となり、前連結会計年度末と比較して650百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は29.9%（前連結会計年度末は34.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、現状では受注が計画を上回って推移していることから、平成27年5月14日公表の通期業績予想は修正いたしません。今後の市況や業績動向等を踏まえ、修正が必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,328,689	2,172,831
受取手形及び売掛金	<u>3,193,876</u>	<u>2,500,364</u>
商品及び製品	<u>890,255</u>	<u>1,361,638</u>
仕掛品	1,826,401	2,460,575
原材料及び貯蔵品	145,190	204,730
その他	263,068	<u>191,927</u>
流動資産合計	<u>8,647,481</u>	<u>8,892,068</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,009,142	959,368
機械装置及び運搬具(純額)	511,584	442,583
土地	511,589	511,589
その他	272,036	209,210
有形固定資産合計	<u>2,304,352</u>	<u>2,122,752</u>
無形固定資産	85,909	77,750
投資その他の資産		
その他	1,260,366	1,113,463
貸倒引当金	<u>△5,160</u>	<u>△4,798</u>
投資その他の資産合計	<u>1,255,205</u>	<u>1,108,664</u>
固定資産合計	<u>3,645,467</u>	<u>3,309,166</u>
資産合計	<u>12,292,949</u>	<u>12,201,235</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,442,684	2,566,797
短期借入金	3,362,000	3,210,000
1年内返済予定の長期借入金	191,688	253,488
未払法人税等	26,543	8,777
賞与引当金	104,170	53,001
製品保証引当金	<u>37,538</u>	<u>52,863</u>
その他	<u>646,340</u>	<u>1,125,222</u>
流動負債合計	<u>6,810,964</u>	<u>7,270,151</u>
固定負債		
長期借入金	203,258	372,342
退職給付に係る負債	762,628	737,786
その他	222,945	178,485
固定負債合計	<u>1,188,831</u>	<u>1,288,614</u>
負債合計	<u>7,999,796</u>	<u>8,558,765</u>

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	<u>△1,379,961</u>	<u>△1,941,363</u>
自己株式	△100,434	△100,899
株主資本合計	<u>4,357,103</u>	<u>3,795,236</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,068	17,510
為替換算調整勘定	△61,694	△143,383
退職給付に係る調整累計額	△34,324	△26,894
その他の包括利益累計額合計	<u>△63,950</u>	<u>△152,767</u>
純資産合計	<u>4,293,153</u>	<u>3,642,469</u>
負債純資産合計	<u>12,292,949</u>	<u>12,201,235</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,032,380	6,370,124
売上原価	6,384,237	5,293,376
売上総利益	1,648,142	1,076,748
販売費及び一般管理費	1,662,437	1,690,706
営業損失(△)	△14,294	△613,958
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,337	3,724
為替差益	59,360	12,091
受取技術料	10,128	9,692
受取補償金	-	46,093
その他	53,421	44,710
営業外収益合計	126,247	116,312
営業外費用		
支払利息	56,209	56,335
持分法による投資損失	9,641	2,901
その他	26,357	5,886
営業外費用合計	92,209	65,123
経常利益又は経常損失(△)	19,743	△562,769
特別利益		
固定資産売却益	12,331	2,268
関係会社出資金売却益	-	10,422
特別利益合計	12,331	12,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	32,075	△550,078
法人税、住民税及び事業税	3,858	7,524
法人税等調整額	△22	3,799
法人税等合計	3,836	11,323
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,238	△561,402
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	28,238	△561,402

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	28,238	△561,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,366	△14,557
為替換算調整勘定	41,166	△36,230
退職給付に係る調整額	7,159	7,430
持分法適用会社に対する持分相当額	30,400	△45,459
その他の包括利益合計	96,091	△88,816
四半期包括利益	124,330	△650,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,330	△650,219

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「II 当第3四半期連結累計期間 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他 (注)	
売上高				
外部顧客への売上高	5,310,448	2,126,474	595,456	8,032,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	150,793	14,538	28,355	193,687
計	5,461,242	2,141,013	623,811	8,226,067
セグメント利益又はセグメント損失(△)	533,669	△170,524	56,060	419,205

(注) 「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	419,205
セグメント間取引高消去	—
全社費用(注)	△433,500
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△14,294

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電子部品 組立装置	電子部品	その他(注)	
売上高				
外部顧客への売上高	4,473,551	1,164,262	732,310	6,370,124
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,350	7,644	121,935	148,931
計	4,492,902	1,171,906	854,246	6,519,055
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△11,405	△233,310	91,963	△152,752

(注) 「その他」の区分は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△152,752
セグメント間取引高消去	-
全社費用(注)	△461,206
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△613,958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、半導体製造装置、金型、リードフレーム及び各種電子部品等の製造販売を主要な事業としております。前連結会計年度から、「その他」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。従って、当社はこれらを基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「電子部品組立装置事業」「電子部品事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「電子部品組立装置事業」は、モールドング装置、リード加工機及びモールド金型等の製造・販売、「電子部品事業」は、リードフレーム及び電子通信部品等を製造・販売、及び「その他事業」は、リード加工金型及びリードフレーム生産用金型の調達・販売等であります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。